



# 2010年3月期 上期 決算概要とトピックス

2009年 10月 29日

テルモ株式会社  
代表取締役社長

高橋 晃

# 決算概要

(億円)

	09/3期 上期	10/3期 上期	増減率
売上高	1,570	1,581	1%
粗利益	843 (53.7%)	833 (52.7%)	-1%
販管費	528 (33.7%)	507 (32.1%)	-4%
営業利益	315 (20.0%)	326 (20.6%)	4%
経常利益	328 (20.9%)	322 (20.4%)	-2%
純利益	230 (14.6%)	208 (13.1%)	-10%

期中平均レート

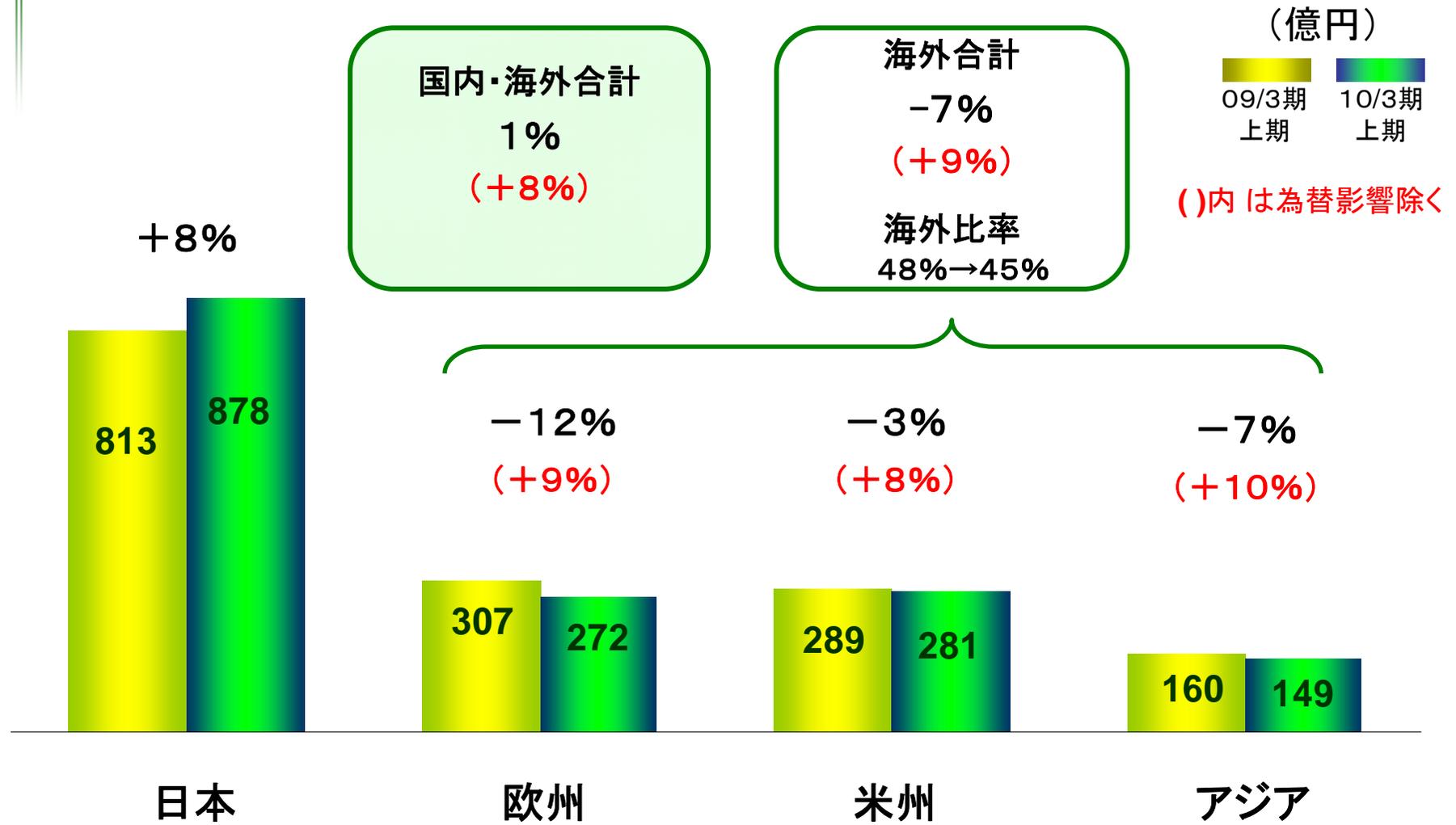
US\$ 106円  
EUR 163円

96円  
133円

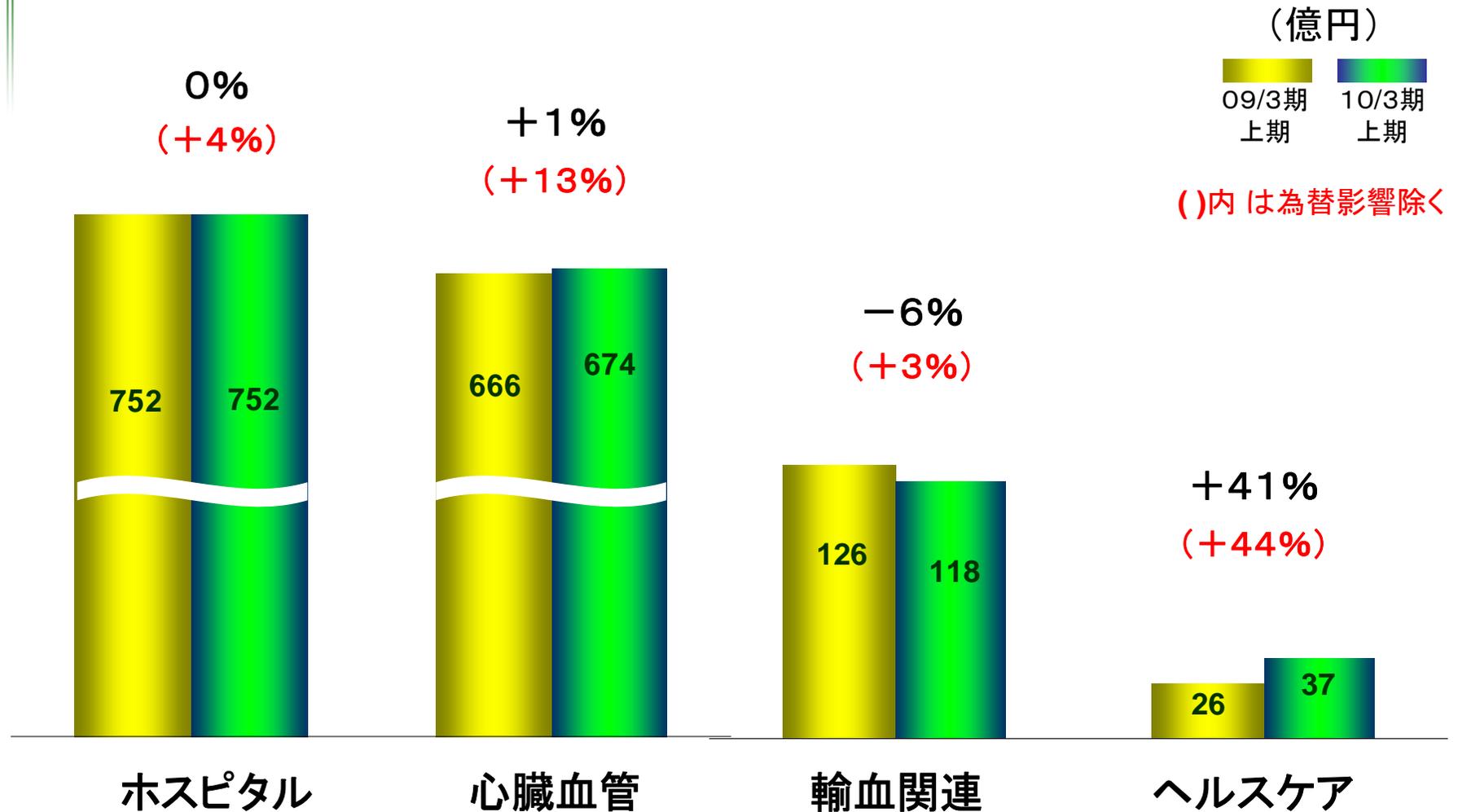


売上高に-7%影響

# 売上高 (地域別)

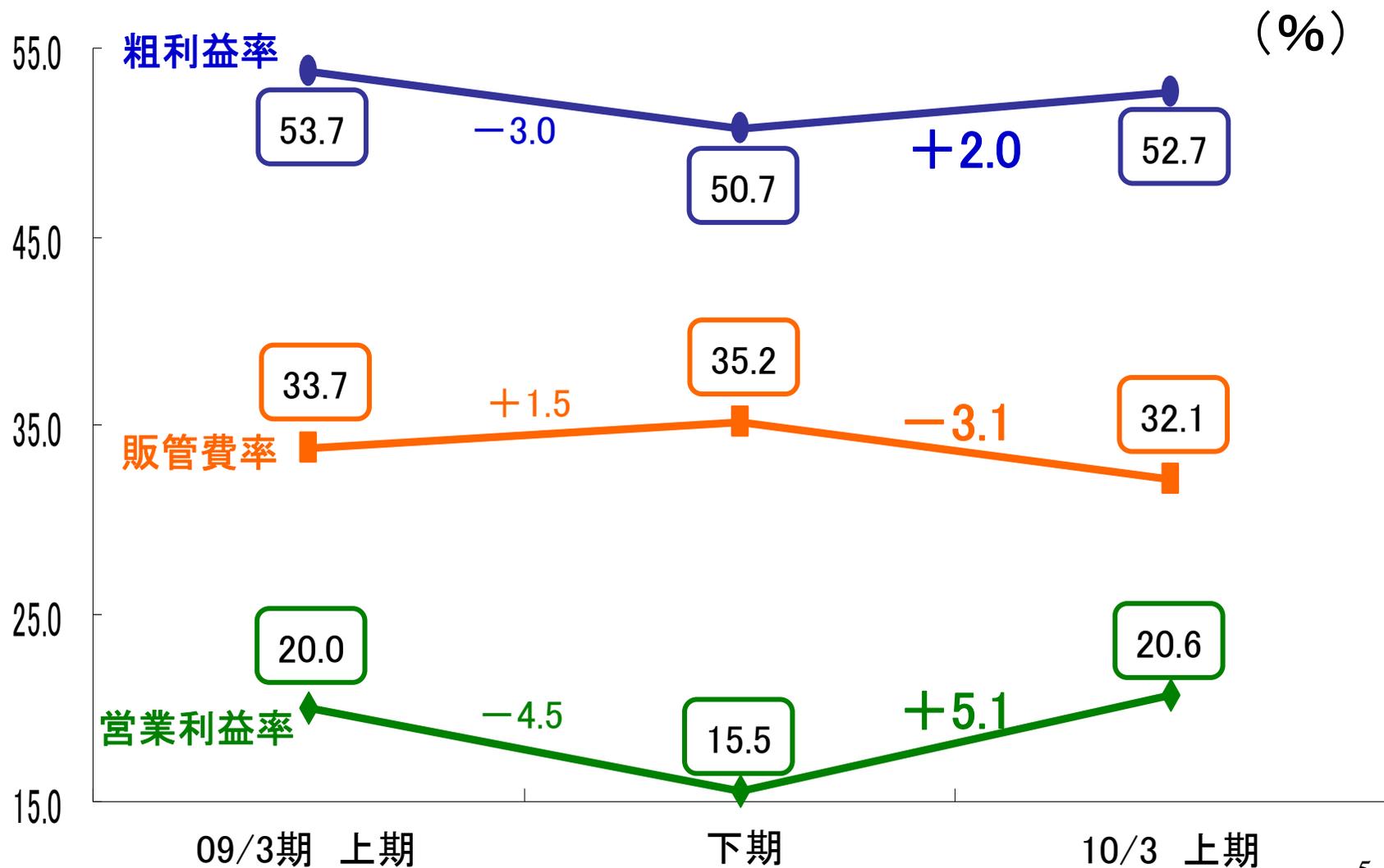


# 売上高 (商品群別)

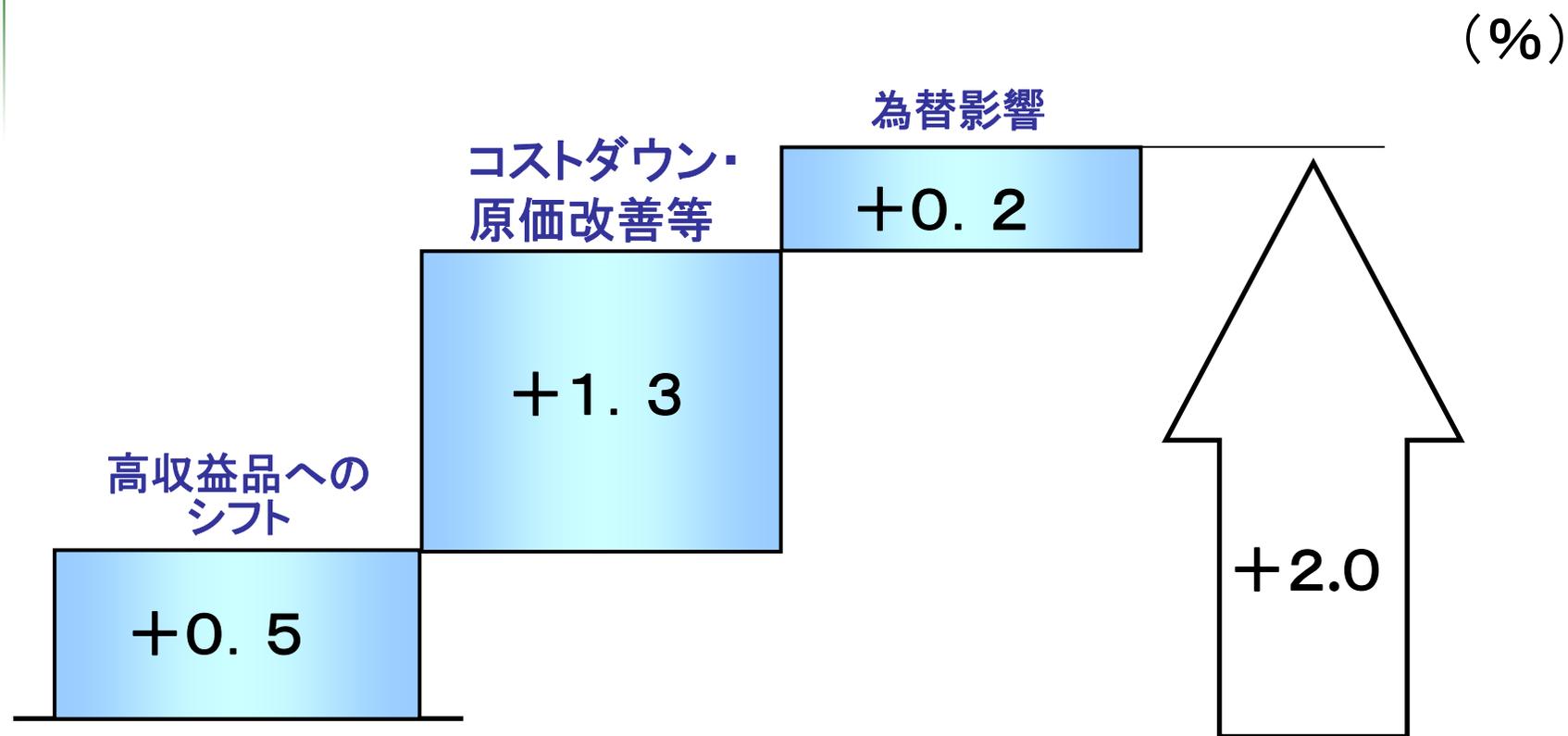


# 粗利益率、販管費率

## 双方が営業利益率の回復に貢献



# 粗利益率の改善



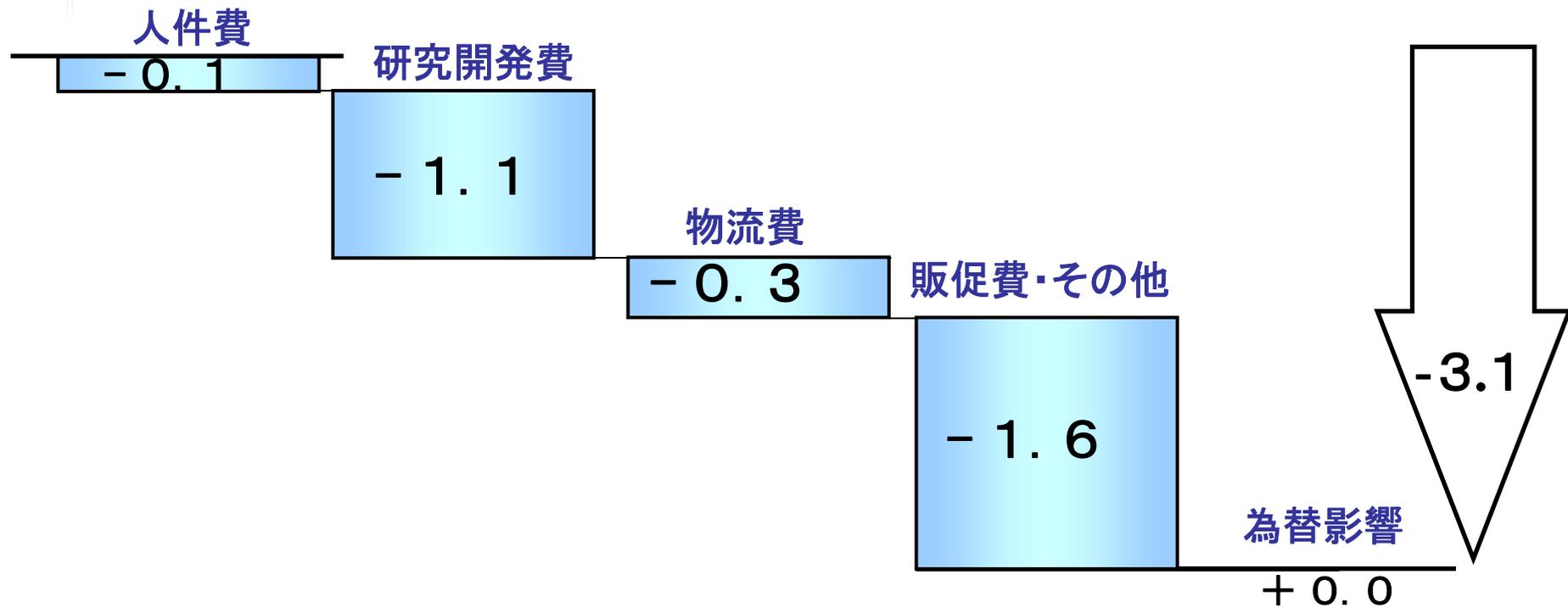
09/3期 下期 50.7% → 10/3 上期 52.7%

期中平均レート  
US\$ 95円  
EUR 124円

96円  
133円

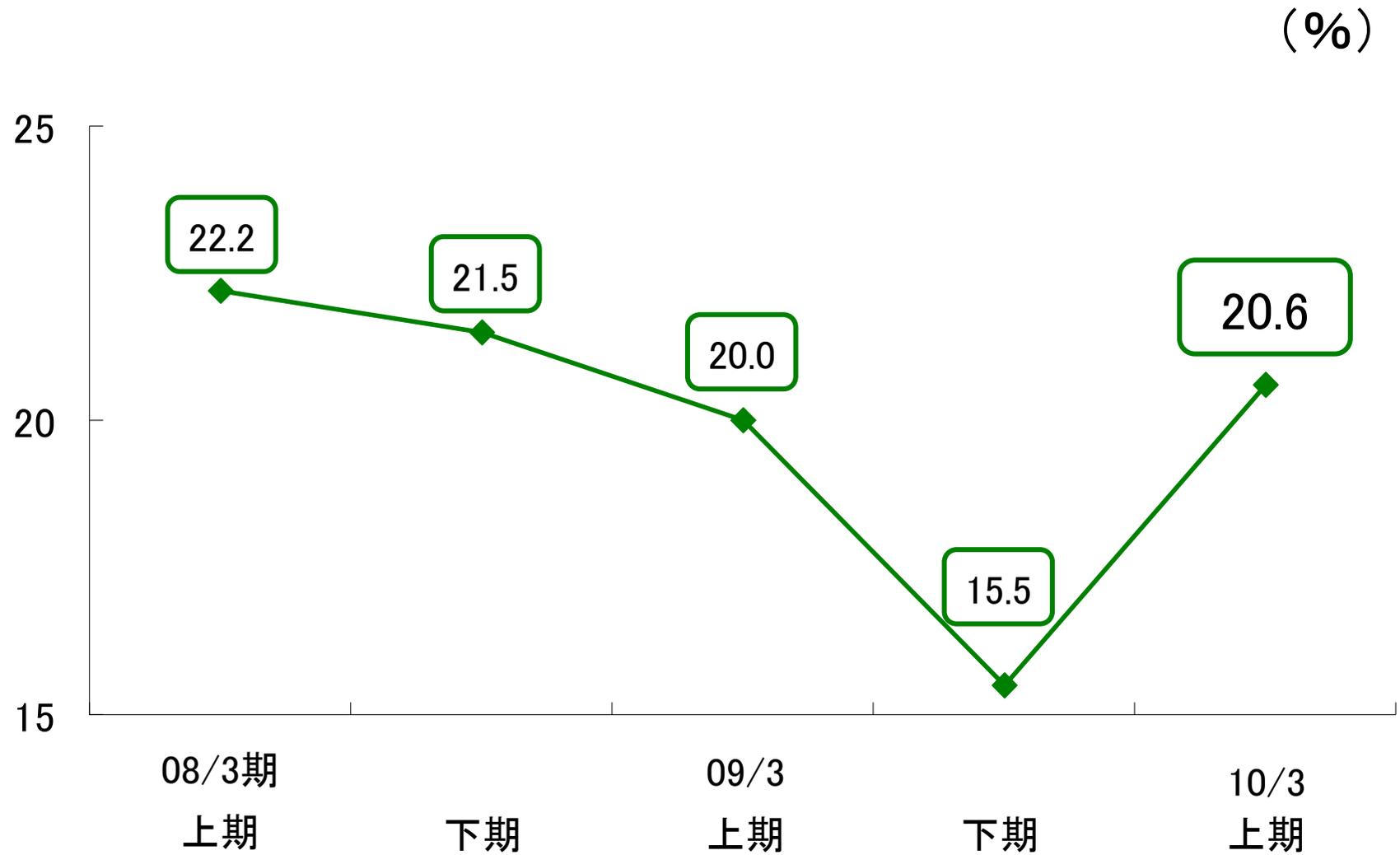
# 販管費率の改善

(%)



09/3期 下期 35.2% → 10/3 上期 32.1%

# 営業利益率、20%台に回復





◆世界の医療改革と成長戦略

◆その他のトピックス

# 世界の医療改革

## 中国

- ・経済発展、所得水準の上昇
- ・総額1200億ドルの政策投資
- ・国民皆保険に向けた改革がスタート

## 米国

- ・無保険者4500万人超の解消に本腰
- ・医療改革法案の年内成立に向け審議中

## 英国

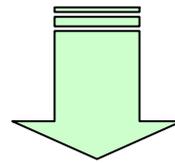
- ・『人、資金、新技術』の3点セットで  
医療水準を向上

## 日本

- ・病院の経営改善、医師増員などを検討

# 成長機会がさらに拡大

- ◆中国を筆頭に新興国市場が拡大
- ◆米国市場が変化、医療経済性重視へシフト
- ◆日本は、救急・がん対策など、各分野での積極策を検討

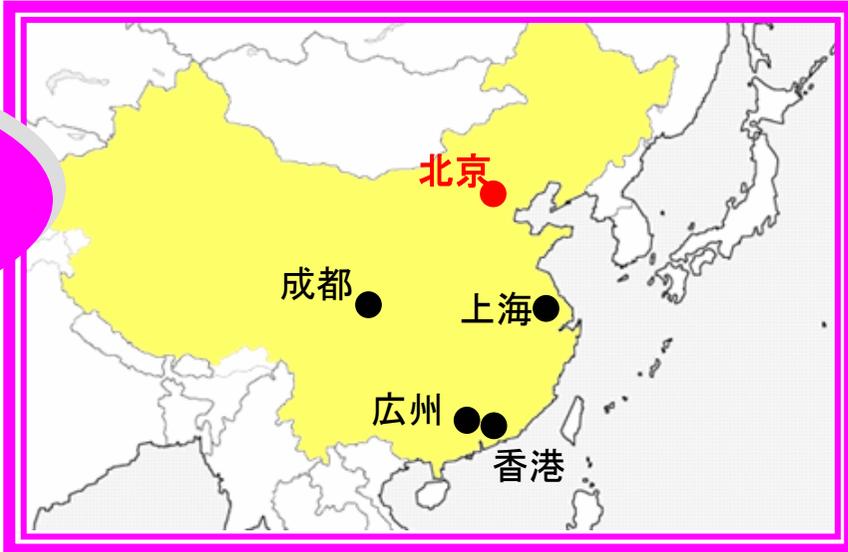


先進国・先進医療主導から全地域・全分野が成長を牽引へ  
医療経済性にフォーカスした戦略を推進

# 中国・新興国で体制を強化

中国：北京に専任役員を常駐

◆戦略機能を強化



◆2009年10月  
ブラジル現地法人の  
輸入・販売機能を拡充



◆2007年  
チリの現地代理店を子会社化

南米：拠点を継続強化

# 医療のインフラづくりをサポート



ロシア



日本人Drを招聘してのライブデモ



フィリピン



看護師向け静脈注射トレーニング



Terumo Medical Pranex  
日中友好TRI セミナー



南アフリカ



駐在員事務所での  
シミュレータートレーニング

ブラジル



「移民100周年」記念 TRIシンポジウム 13

# 米国事業を再編、持株会社を設立

M&Aなどにより子会社が増加

一体運営でさらなる発展の土台作り



1999年  
3Mより事業買収



2003年  
テルモハート社設立



2006年  
カテーテル自販スタート



2006年  
マイクロベンション社買収



持株会社

来年1月に新体制スタート

# 米国の変化をビジネスチャンスに

## 手首からのカテーテル治療 (TRI) に注目集まる

### 商品ラインアップの拡充

日帰り治療が可能な究極のカテーテル技術  
“TRI”に適した新商品を世界先行発売



ガイディングカテーテル

手首からのアプローチに適したデバイス (米国販売中)



止血デバイス



Mコートシース



血管造影用カテーテル

TCT2009 | TRANSCATHETER  
CARDIOVASCULAR  
THERAPEUTICS



大盛況のテルモ主催 TRIセミナー

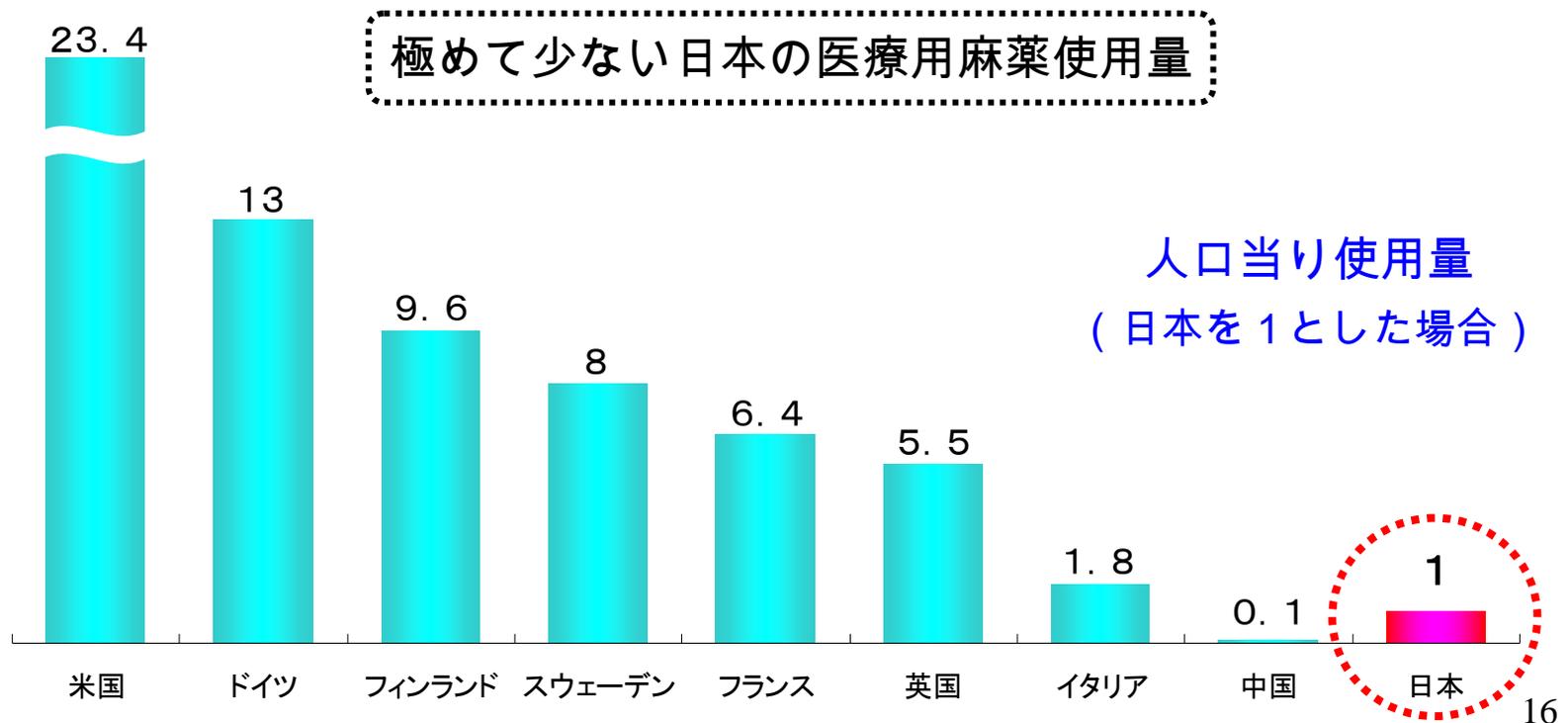


廊下のモニター  
まで混雑

# 日本は事業領域をさらに拡大

## がん性疼痛緩和事業に参入

帝國製薬(8月)、武田薬品(9月)との提携を発表



出典：国際麻薬統制委員会資料

# 医療機器メーカーの強みを活かし育成

コ・メディカルの教育訓練など、  
独自の強みを活かす

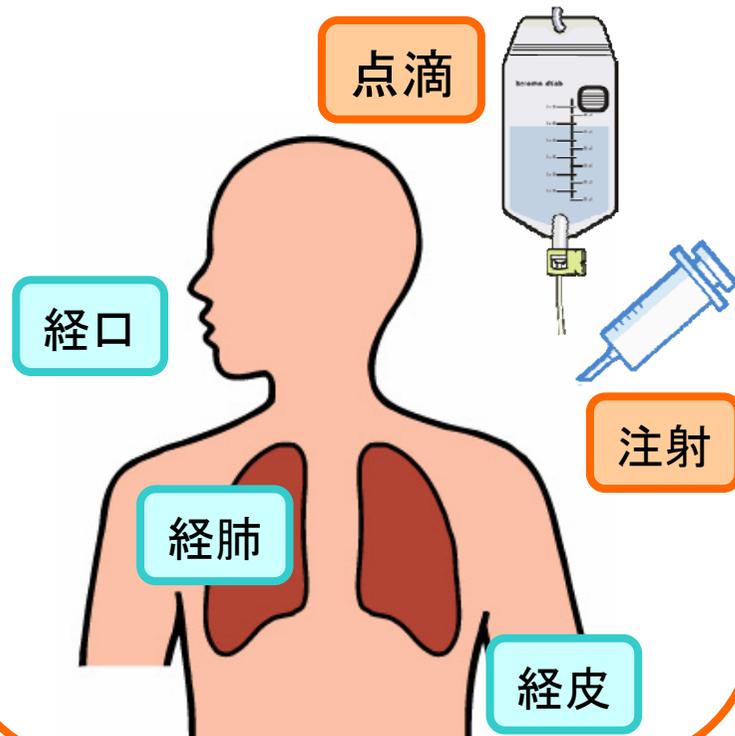


医療用麻薬WHO治療法の実践トレーニング



がん性疼痛看護認定看護師、  
緩和薬物療法認定薬剤師の講習会など

提携 & 自社で  
幅広い投与経路の  
薬剤をラインアップ



# ヘルスケア事業が好調

開発サイクルのスピードアップ

新商品の発売ペースが3倍に



耳式体温計  
「ミミッピーカリ」

PREMIAGE<sup>®</sup>  
プレミアージュ



手首式血圧計 「P400」 上腕式血圧計 「P600」



上腕式血圧計  
「P3000」

新型インフルエンザ対策で体温計の需要も拡大

# 新型インフルエンザ対策に貢献

## 新しいワクチン専用注射器を開発

残液を少なく  
ワクチンを有効活用

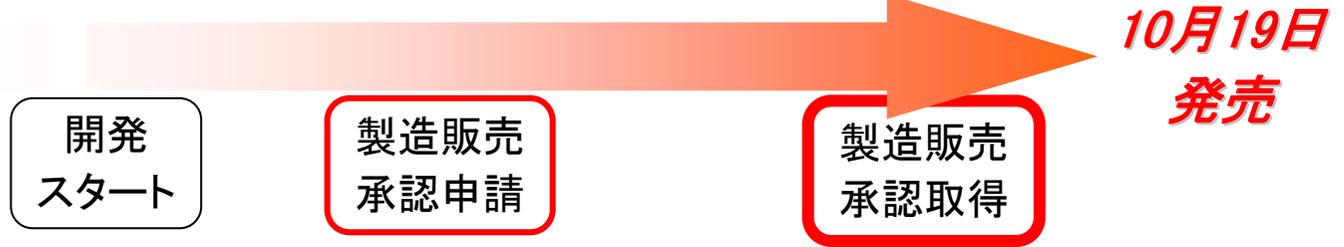
細い注射針  
痛みが少ない

針交換不要  
医療現場の効率アップ



「FNシリンジ」

スピード開発＋異例の早さ(3ヶ月)で製造販売承認取得



# 最先端商品とアジア生産が拡大



愛鷹工場の新棟  
10月より操業スタート

ベトナム工場  
順調に生産拡大



## 年間見通しを上方修正

下期は円高想定、開発費積極投下も営業利益20%堅持

(億円)

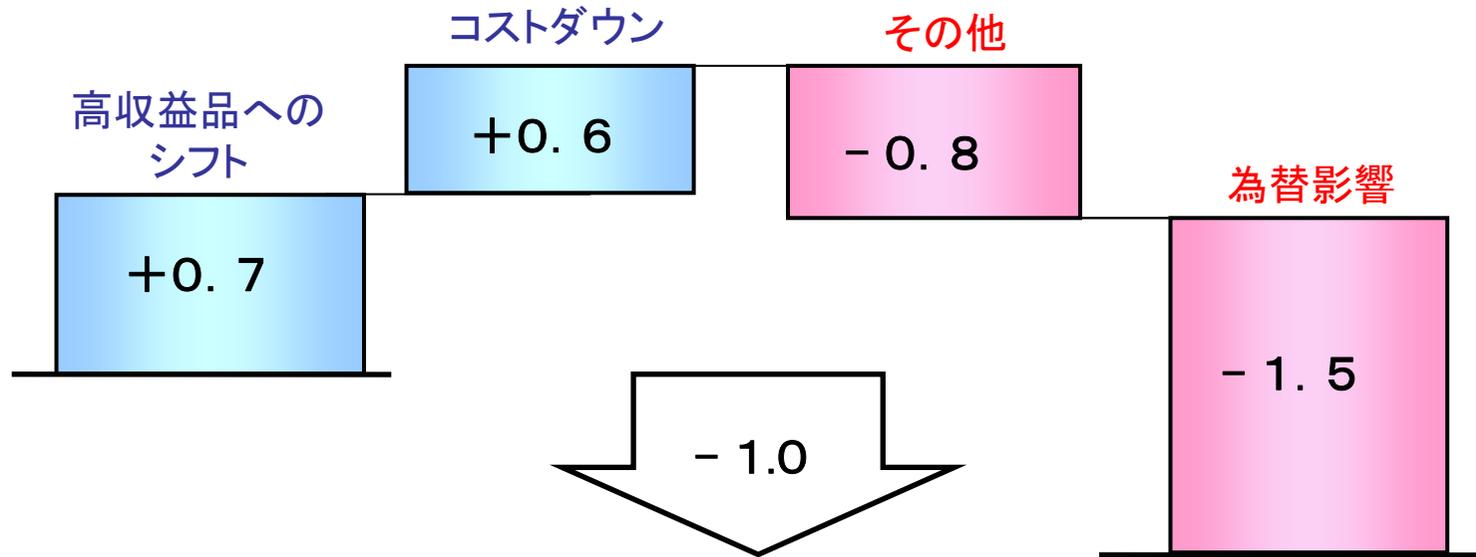
	10/3期 上期実績	10/3期 年間見通し	10/3期 当初見通し
売上高	1,581	3,150	3,150
営業利益	326 (20.6%)	630 (20.0%)	560 (17.8%)
経常利益	322 (20.4%)	610 (19.4%)	560 (17.8%)
純利益	208 (13.1%)	400 (12.7%)	375 (11.9%)
期中平均レート	US\$ 96 円 EUR 133 円	90 円 132 円	95円 125円

下期想定レート

US\$ 85 円  
EUR 130 円

# 参考資料

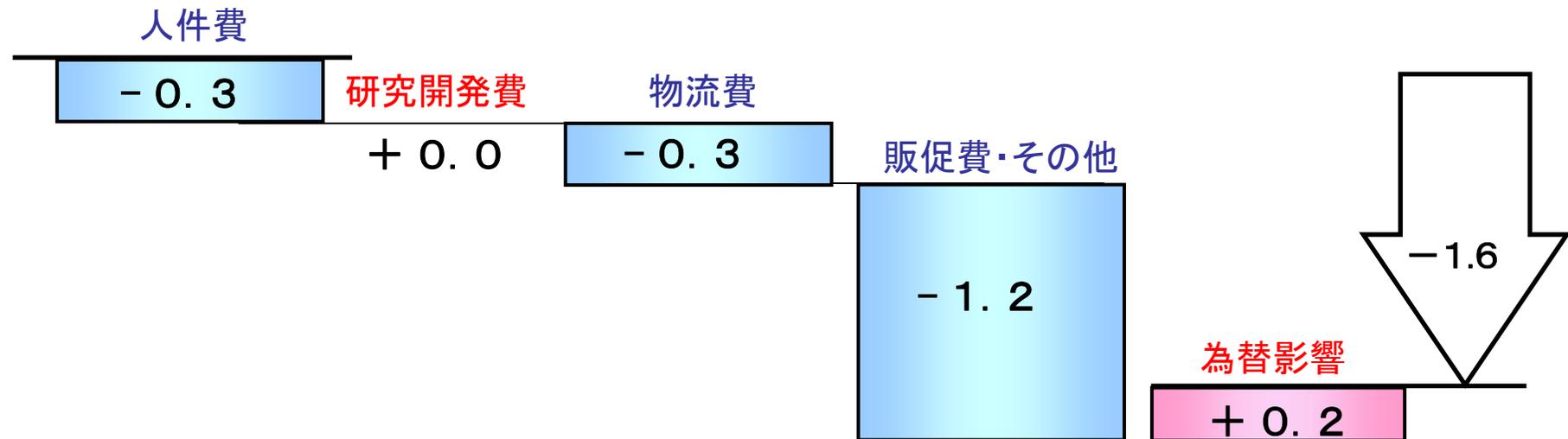
# 粗利益率(%)



09/3期 上期 : 53.7% → 10/3 上期 : 52.7%

期中平均レート	US\$	106円	96円
	EUR	163円	133円

# 販管費率(%)



09/3期 上期:33.7% → 10/3 上期 :32.1%

# 参考情報

(単位:百万円)

	2009年3月期 第2四半期累計	2010年3月期 第2四半期累計	2010年3月期 見通し
研究開発費	7,983	8,199	17,500
減価償却費	9,515	9,459	21,000
設備投資額	9,767	9,822	23,000
フリーキャッシュフロー	1,307	15,948	
<small>フリーキャッシュフロー=営業CF+投資CF</small>			
一株当たり純利益(円)	118.56	109.38	210.64

# 《おことわり》

本資料のうち、業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な限られた情報に基づき、テルモで判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。

また、市場規模等については、当社の独自の調査を含んでおります。